

JGA NEWSLETTER

【編集・発行】一般社団法人 日本消化管学会 〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 株式会社 勁草書房コミュニケーション事業部内 TEL.03-5840-6338

日本消化管学会ニュースレター



vol.18 <Winter 2016>

<http://www.jpn-ga.jp/>

contents

第13回日本消化管学会総会学術集会 会長挨拶 …………… 1	胃腸科専門医制度と今後のスケジュールについて …… 8
第13回日本消化管学会総会学術集会 プログラム概要 …… 2	日本消化管学会 暫定処置による胃腸科指導施設 名簿 …… 9
第13回日本消化管学会総会学術集会 交通と宿泊のご案内 …… 3	理事会・各種委員会報告 …………… 14
平成28年度日本消化管学会教育集会報告 …………… 4	日本消化管学会プライバシーポリシー …………… 15
第14回日本消化管学会総会学術集会 …………… 5	<i>Digestion</i> 誌査読者リスト …………… 16
第11回 (2017年度) 日本消化管学会教育集会 …………… 5	会員の皆様へー事務局からのお知らせー …………… 16
GI Weekについて …………… 5	JGA NEWSLETTER 編集組織 …………… 16
学術的トピックス	
PPI抵抗性逆流性食道炎への対応 …………… 6	
食道運動障害の診断と治療 …………… 7	

第13回日本消化管学会総会学術集会 会長挨拶

名古屋市立大学大学院医学研究科消化器・代謝内科学 教授 城 卓志

この度、第13回日本消化管学会総会学術集会を主催させていただき名古屋市立大学大学院医学研究科消化器・代謝内科学の城 卓志です。本学術集会を2017年2月17日（金）～18日（土）の2日間、名古屋国際会議場にて開催致します。



本学会は、2004年4月に設立されましたが、第1回の学術集会は、2005年1月に、私の先代教授である伊藤 誠先生（現名古屋市立大学名誉教授）のもとに名古屋で開催されました。従いまして、私共も第1回の学術集会企画の段階から関わって参りました。当時はどのような学会に発展するのか見当がつかず憂慮しておりましたが、以来1年に1度の学術集会を経る度に充実し、現在の発展には目を見張るものがあると感じています。当時から参加者には、「消化管疾患のみに焦点をあてた演題はどの演題を聴いても分かりやすく面白い」「全く知らない学会員が少なく大変参加しやすい」といった好評をいただいていた。今回もそのような歴史と伝統を損なわないように努めたいと考えております。

今回の第13回学術集会では、「New Frontiers in Gastroenterology」をメインテーマとし、特別講演、教育講演、ワークショップ、一般演題など多様なセッションを予定しています。消化管は

最も原始的な臓器であり生命の維持には欠かせない重要な臓器です。また多彩な機能を持ち、関連する疾病も多岐にわたり、臓器を超えた全身の病態に大きく関与していることが明らかとされつつあります。私自身の強い思いでもあります。消化管学のさらなる発展を願う気持ちが、このメインテーマには込められています。Gastroenterologyという言葉は、まさに消化管学会に最も相応しいと、学会発足時から意識していた言葉のひとつであり、今回のメインテーマのキーワードとして採用致しました。

今回の学術集会も、2月17日（金）～19日（日）をGI Weekとして開催されます。学術集会に引き続き同じ会場で、第10回日本カプセル内視鏡学会学術集会（会長：弘前大学 福田眞作先生）と第49回胃病態機能研究会（当番会長：兵庫医科大学 三輪洋人先生）を合同で開催致します。消化管に関連する三つの学会・研究会を、合理的、効率的に学術研究の発表の場を提供するとの試みですが、さらに協力していく方向性を確かなものにしていきたいと考えています。

会員の皆様方には、お誘い合わせの上多数ご参加いただきますよう、心よりお待ち申し上げます。実り多い有意義な学術集会となりますよう教室員一同最後まで努めて参りますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。

第13回日本消化管学会総会学術集会 プログラム概要

城 卓志

第13回日本消化管学会総会学術集会では、「New Frontiers in Gastroenterology」をメインテーマとし、消化管学の最新的话题を提供させていただけるようプログラムを準備致しました。

まず主題演題であります、コアシンポ4題、ワークショップ14題、ご用意させていただきました。コアシンポは、「消化管悪性腫瘍：内科治療と低侵襲外科治療の接点」、「炎症性腸疾患：内科、外科からみたIBD手術後の問題点」、「機能性疾患：機能性ディスペプシアの新展開」、「内視鏡：小腸病変の診断・治療の現状と未来」の4セッションで、第11回の学術集会に更新された内容で、本会が最終年に当たります。今回も多くの演題応募をいただいております、会員の皆様の期待を裏切らないセッションになるものと考えています。

教育講演では、第一線で活躍の6名の先生にタイムリーなお話をご講演いただく予定です。「バレット粘膜・バレット食道癌の診断と治療」を東北大学、小池智幸先生に、「消化管幹細胞研究の最前線」を東京医科歯科大学、土屋輝一郎先生に、「大腸鋸歯状病変の病理診断と発癌経路」を岩手医科大学、菅井有先生に、「下部消化管機能障害の診断と治療」を横浜市立大学、中島淳先生に、「機能と形態から見た胃炎の診断学—京都分類の位置づけとは」を川崎医科大学附属病院、春間賢先生に、「胃の腫瘍様病変と低異型度腫瘍」を滋賀医科大学、九嶋亮治先生にお願いしています。

会長特別企画では、消化管学の枠を超え、医療分野の研究開発という観点から将来の消化管学の進むべき道筋について議論

を交わす場を設けました。1日目では、日本医療研究開発機構の理事長、末松誠先生をお招きし、本邦の医療分野における研究の課題や展望についてご講演いただきます。2日目では、日本医療研究開発機構を中心に推進されている医学研究の大きな基軸の1つである医工連携について医学、工学の領域にまたがり、各分野のエキスパートをお招きし、討論を予定しています。また、招待講演では、トヨタ自動車の田中義和氏に、燃料電池自動車MIRAIの開発や、水素社会の実現に向けた取り組みについてご講演いただく予定で、我々医療人にとっても、啓発的で挑戦的な試みについてお話を伺います。

消化管学会の国際セッション、IGICSは今回で第10回を迎えますが、「Advanced technology for diagnosis and treatment of gastroenterological disease」のテーマで、Seth A. Gross先生に（ACG招待講演）に特別講演を、また消化管の分野で活躍中の精鋭医師をアジア諸国から招き、発表、討議していただく予定です。

その他にも、ご好評いただいておりますESDフォーラムや症例検討セッションについても継続して企画致しました。また、一般演題、ポスターセッションにも従来どおり多数の演題応募をいただいております。今回のプログラムは、これまでの集会のように最新の診断・治療に関する演題から、日常診療での診断・治療に役立つ演題まで、皆様の期待に沿える内容になったのではないかと自負しています。来る2017年2月17日、18日には名古屋で、多数の皆様方にお会いできますことを願っております。

**第13回
日本消化管学会総会学術集会**

*New Frontiers
in Gastroenterology*

2017年
2月17日Fri - 18日Sat

会場 **名古屋国際会議場**
名古屋市中区鶴舞1番1号

会長 **城 卓志**
名古屋大学大学院医学研究科消化器・代謝内科学 教授

GI Week
2017年2月17日②-19日①

第13回 日本消化管学会総会学術集会 (17日②・18日①)
第10回 日本カプセル内視鏡学会学術集会 (18日①・19日②)
第49回 胃腸機能研究会 (18日①・19日②)

<http://www.keiso-comm.com/13jga/index.html>

運営事務局 南苑書房コミュニケーション事業部内 〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 電話: 03-5840-6339 Fax: 03-5814-6904 E-mail: 13jga-office@keiso-comm.com

第13回日本消化管学会総会学術集会 交通と宿泊のご案内

2017年2月17日（金）・18日（土） 於：名古屋国際会議場



ホテル一覧

- ①ヒルトン名古屋**
 〒460-0008名古屋市中区栄1-3-3
 TEL：052-212-1111
 FAX：052-212-1225
- ②名古屋観光ホテル**
 〒460-8608
 名古屋市中区錦一丁目19-30
 TEL：052-231-7711
 FAX：052-231-7719
- ③名古屋東急ホテル**
 〒460-0008名古屋市中区栄4-6-8
 TEL：052-251-2411
 FAX：052-251-2422
- ④名古屋マリオットアソシアホテル**
 〒450-6002名古屋市中村区名駅1-1-4
 TEL：052-584-1111
 FAX：052-584-1112
- ⑤ウエスティンナゴヤキャッスル**
 〒451-8551 名古屋市区西區樋の口町3番19号
 TEL：052-521-2121
 FAX：052-531-3313
- ⑥キャッスルプラザ**
 〒450-0002名古屋市中村区名駅4-3-25
 TEL：052-582-2121
 FAX：052-582-8666
- ⑦東横INN名古屋錦**
 〒460-0003 名古屋市中区錦3-9-3
 TEL：052-953-1045
 FAX：052-951-2045
- ⑧金山ホテル**
 〒460-0022 名古屋市中区金山4-6-25
 TEL：052-322-1111
 FAX：052-332-5588

名古屋国際会議場

- 住所 〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号
- TEL 052-683-7711
- FAX 052-683-7777
- 交通アクセス

名古屋駅 (東海道新幹線、JR線、名鉄線、近鉄線)	タクシー	名古屋駅→会場	約20分	約2,000円
	地下鉄	名古屋駅→東山線「栄」または桜通線「久屋大通」→名城線「日比野」または「西高蔵」→(徒歩約5分)→会場	約20分	地下鉄240円
中部国際空港 (セントレア)	名鉄線 + 地下鉄	中部国際空港→(空港線快速特急25分)→金山→(地下鉄2分)→名港線「日比野」または名城線「西高蔵」→(徒歩約5分)→会場	約40分	170円 地下鉄200円

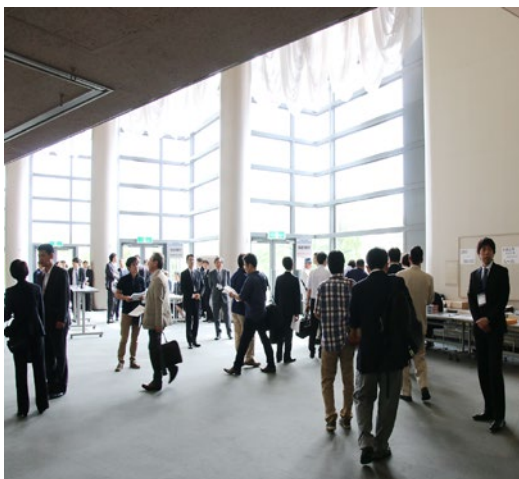
平成28年度日本消化管学会教育集会報告

今年度の教育集会を担当させていただきました名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学の後藤秀実です。平成28年度日本消化管学会教育集会は、9月11日（日）に開催させていただき、先生方のご指導・ご支援により336名（会員297名、非会員57名）という多くの先生方にご出席を賜り、無事に終えることができましたので会員の皆様方へのお礼と会のご報告をさせていただきます。

今回の教育集会は「消化管疾患治療の将来を見つめて」というテーマにて、現在食道、胃、十二指腸、小腸、大腸領域において、最も先進的な治療をされてみえます5名の先生方によるご講演を企画させていただきました。更に、各講演の司会者も講演者と同様にその領域のエキスパートの先生方にお願ひし、私自身最高の企画（プログラム）ができたと自負しておりました。それ故、多くの先生方にご参加していただけるものと信じておりましたところ、9月11日は日本内科学会の専門医試験や他学会のセミナーなどが行われる事を7月頃に知ると同時に、事務局からも「応募開始時は順調に増えていた参加者が、途中から応募が無くなった」との連絡もいただき、私も大変焦りまして、私共の関連施設に参加の呼びかけをするとともに東海地区の消化管の教授の先生方にもお願ひさせていただき、最終的に336名の先生方にご参加賜りました事、本紙上をお借りしお礼申し上げます。本当に有り難うございました。

当日の教育集会では、講演1,2の井上先生や藤城先生が、これからの内視鏡治療としてPOEM、ARMS、LECSについて述べられ、さらに藤城先生はLECSを発展させられたNEWS（Non-

exposed Endoscopic Wall-inversion Surgery）についても述べられました。両講演を聞き内視鏡技術の進歩の速さに改めて驚かされました。ランチョンセミナーでは加藤元嗣先生よりIEEについて講演していただき、前2人の講演と違い内視鏡機器の進歩に目を見張りました。このように人の技術と機器の進歩から、新しい内視鏡治療術が考案されるこ



名古屋大学大学院医学系研究科消化器内科学 後藤 秀実

とを再認識致しました。これらの講演は非常に興味深く、いつもなら講演中に睡魔に襲われるのですが、それも楽しく勉強をさせていただきました。

川嶋先生や大宮先生は、東海枠と川嶋先生が講演で謙遜されていましたが、逆にこの中部で強い技術を全国に広めようとする企画でした。特に川嶋先生が講演されましたPapillectomyは名古屋大学消化器内科胆膵グループのお家芸の治療技術で、教育集会で講演できました事を非常に嬉しく思っています。また、大宮先生も名古屋大学時代から取り組んでこられましたカプセル内視鏡やダブルバルーン内視鏡をさらに発展された話をされ、まだまだ普及していない両機器の臨床での重要さが伝わったと信じております。最後に、安藤先生が今話題の腸内細菌や糞便移植などを講演され、その内容と斬新な考えに驚かれた参加者も多いのではと思っております。しかし、今はまだ検討中の治療法でもあり、今後の発展が望まれます。

今回の教育集会での講演は、全ての演題を内視鏡関係で統一したかったのですが、大腸に関しましては医局員より腸内細菌・糞便移植を聞きたいとの意見が多く、そのようにさせていただきました。従いまして、どの講演も日本の最先端治療の講演となり、今回のテーマであります「消化管疾患治療の将来を見つめて」を反映できた教育集会であったと思っております。しかし、その一方で参加者の大半の方が経験されてみえない内容の講演であり、教育集会という名に相応しかったか否かは反省しております。

最近、私は若い医師に対し、診療・研究に関し自分の将来の目標（夢）を持つようにあるいはメッセージを残すようにしております。今回の教育集会でなされた講演内容が、消化管学会の若い会員の先生方へのメッセージになることを願ひ、本稿を終わらせていただきます。

先生方のご支援とご協力に感謝申し上げます。



第14回日本消化管学会総会学術集会

第14回日本消化管学会総会学術集会は下記の開催予定です。

詳細が決定しましたら、ホームページに掲載致します。

日 程：2018年2月9日（金）～10日（土）

会 場：京王プラザホテル

〒160-8330 東京都新宿区西新宿2-2-1

TEL：03-3344-0111（代表）

会 長：加藤 広行（獨協医科大学 第一外科学 教授）

テーマ：『消化管を治す、癒す、和ます』

お問合せ先：第14回日本消化管学会総会学術集会運営事務局

TEL：03-5840-6339

最寄駅：「都庁前駅」B1出口すぐ（大江戸線）

「新宿駅」西口徒歩5分

（小田急線・京王線・丸ノ内線・新宿線）

「新宿駅」西口徒歩5分（JR線）

第11回(2017年度)日本消化管学会教育集会

第11回(2017年度)日本消化管学会教育集会は下記の開催予定です。

詳細が決定しましたら、ホームページに掲載致します。

※2017年度より、教育集会の年度表記が和暦から回数（西暦）に変更になります。

日 程：2017年9月10日（日）

会 場：富山国際会議場

〒930-0084 富山県富山市大手町1-2

TEL：076-424-5931（代表）

当番世話人：杉山 敏郎

（富山大学大学院医学薬学研究部医学部消化器
造血器腫瘍制御内科学 内科学第三講座）

テーマ：消化管疾患の病態・治療の新展開

定 員：700名（予定）※参加には事前登録が必要です

GI Week について

2015年度より、日本消化管学会ではGI Weekと称し、日本消化管学会総会学術集会和日本カプセル内視鏡学会学術集会、胃病態機能研究会と同時期に開催しております。第10回日本カプセル内視鏡学会学術集会と第49回胃病態機能研究会の開催日と会費は右記の通りです。ふるってのご参加をお願い致します。

開催日：2017年2月17日（金）～19日（日）

開催場所：名古屋国際会議場

参加費：日本カプセル内視鏡学会、胃病態機能研究会のいずれか、または両方参加：5,000円（受付18日夕方～19日）

※1 日本消化管学会学術集会は別途10,000円

※2 コメディカルの方の場合は3学会通して参加しても、このうち1つまたは2つだけでも一律3,000円です。受付時、証明書をご提示ください。



胃炎・胃潰瘍治療剤

薬価基準収載

日本薬局方 レバミピド錠

ムコスタ®錠100mg

Mucosta® tablets 100mg

胃炎・胃潰瘍治療剤

薬価基準収載

レバミピド顆粒

ムコスタ®顆粒20%

Mucosta® granules 20%

◇効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。



製造販売元

大塚製薬株式会社

東京都千代田区神田司町2-9

資料請求先

大塚製薬株式会社 医薬情報センター

〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

〈'15.12作成〉

PPI抵抗性逆流性食道炎への対応

GERD診療ガイドライン2015（改定第2版）では、逆流性食道炎の初期治療として、標準量のPPIを8週間内服することが推奨されている。このPPI治療により、軽症逆流性食道炎患者では約90%、重症逆流性食道炎では80-85%の内視鏡的治癒が得られていたが、最近の報告ではLA分類、grade Cの逆流性食道炎患者のPPI（主に標準量）による内視鏡的治癒率は約70%、grade Dでは約60%に低下し、標準量のPPIで治癒しない逆流性食道炎患者が増加している。本稿ではPPI抵抗性逆流性食道炎患者への対応について述べる。

標準量PPI抵抗性REへの対応

生活習慣の確認

胃酸逆流の多くは一過性下部食道括約筋（LES）弛緩（嚥下を伴わないLES弛緩であり、嚔気のメカニズムでもある）に伴って起こるが、一過性LES弛緩は過食や高脂肪食摂取（CCK刺激）時に起こりやすいことから、過食、高脂肪食摂取が控えられているかの確認を行う。また、胃酸逆流は食後の2-3時間以内に発生することが多いが、食後すぐに寝てしまうと就寝時間が食後となり、就寝中に胃酸逆流が起こる可能性が高く、就寝前3時間の食事摂取が控えられているかの確認も行う。その他、早食いは食物と一緒に空気を嚥下してしまうため、胃が伸展され一過性LES弛緩が発生しやすい状況となることから、早食いの食習慣の有無を確認する。Body Mass Index（BMI）25以上の患者では、減量によりBMIを正常範囲内にすることにより、一過性LES弛緩の頻度は減少する。PPI治療と同時にこれらの生活習慣を改善することでQOLの改善が得られる。

他のPPIへの変更

標準量の各PPIによる逆流性食道炎に対する内視鏡的治癒率をみると各PPIともほぼ同様であるが、PPIの効果は各個人間では違いがみられる。標準量でのPPIによる治療効果が不十分である場合には他のPPIに変更し、各個人に最適なPPIを見出すことが重要である。この効果の違いはPPIの代謝に関わるCYP2C19の依存度が各PPIより異なることが影響している。

PPIの投与方法の変更

プロトンポンプは壁細胞が休止期のときには細胞質内で管状小胞の膜上に存在しているが、食事などによる胃酸分泌刺激を壁細胞が感知すると管状小胞が分泌細管側へ移動し、分泌細管膜上に出現したプロトンポンプから胃酸が分泌される。PPIは分泌細管内での胃酸により活性化され、活性化されたPPIが分泌細管膜上のプロトンポンプと共有結合し胃酸分泌を抑制する。最大のPPIの効果を得るためには、食後にPPIの血中濃度を最も高くすることが必要である。PPIの血中濃度が内服後2-3時間で最も高くなることを考えると、食前（60分前）投与が有効ということになる。また、PPIの内服時間に関しては、本邦では一般的に食事の摂取量は夕食が最も多く、夕食後に多くのプロトンポンプが分泌細管膜上に出現していることから、PPIの夕食前投与が有効である。

PPI投与量の変更

標準量のPPIにて治癒しない場合においても、逆流性食道炎

日本医科大学消化器内科学 岩切勝彦

が食道内の過剰な胃酸暴露により発症することから、PPI倍量投与を行い、より強力な胃酸分泌抑制を行えば逆流性食道炎の治癒が得られる。この時にPPIの倍量を一括投与するよりも分割して投与する方が効果的である。分割投与が有効である理由としては、①胃酸により活性化された分泌細管内のPPIは短時間で活性を失うため、PPIの血中濃度（約10-12時間で消失）が低下すると新たに分泌細管膜上に出現するプロトンポンプを阻害できないこと、②新たなプロトンポンプが1日25%程度産生されてくることなどにより、1回に倍量のPPIを内服させるよりも、2回に分割しPPIの血中濃度を2峰性にする方が効果的である。

ボノプラザン（カリウムイオン競合型アシッドブロッカー：P-CAB）による逆流性食道炎治療

2015年2月にボノプラザンが臨床導入された。ボノプラザンはPPIと同様にプロトンポンプを標的とするが、プロトンポンプのカリウムイオン結合を競合的に阻害する薬剤であり、PPIとは異なる新たなカテゴリーの薬剤である。ボノプラザンの特徴は、胃酸抑制効果が迅速、強力であり、その効果が長時間持続することである。ボノプラザンによる逆流性食道炎治療に対する臨床試験成績も優れた成績が報告されている。一方で強力な胃酸抑制効果に伴う有害事象の発現が懸念されている。

実臨床でのP-CABによる逆流性食道炎治療の報告は未だ少ないが、当科でのPPI抵抗性逆流性食道炎患者（強皮症患者に合併する難治性逆流性食道炎患者を含む）に対する効果をみるとボノプラザン20mgの4週間投与により、約90%の患者では内視鏡的治癒が得られ、難治例の逆流性食道炎に対する治療効果は明らかである。また治癒後はボノプラザン10mgでも約80%の患者は粘膜治癒が維持され、ボノプラザンの強力な胃酸抑制効果がわかる。

一方軽症逆流性食道炎ではPPIにより初期治療、維持療法とも十分な治療効果が得られている。ボノプラザンも軽症逆流性食道炎に対して有効であることは間違いないが、ボノプラザンはPPIとは異なる薬剤であり、PPIでの軽症逆流性食道炎の治療法を継承するのではなく、P-CABの特徴（酸抑制効果が迅速、強力）を生かした、新たなP-CABによる軽症逆流性食道炎、NERDに対する治療法を構築するべきであると考えている。



胃酸抑制薬 ディスヘプタール(4D)治療薬 胃酸抑制薬
アコファイド錠100mg
胃酸抑制薬 胃酸分泌抑制薬 胃酸分泌抑制薬
（注）一錠毎の処方量により使用する。

胃酸抑制薬 大腸炎治療薬 胃酸抑制薬
アサコール錠400mg
胃酸抑制薬 胃酸分泌抑制薬 胃酸分泌抑制薬
（注）一錠毎の処方量により使用する。

H₂受容体拮抗薬 胃酸抑制薬
アキシオン錠75mg 150mg
胃酸抑制薬 胃酸分泌抑制薬

胃酸抑制薬 胃酸抑制薬
プロマックD錠75mg 150mg
胃酸抑制薬 胃酸分泌抑制薬

胃酸抑制薬 胃酸抑制薬
ゼシカリア配合錠
胃酸抑制薬 胃酸分泌抑制薬
（注）一錠毎の処方量により使用する。

胃酸抑制薬 胃酸抑制薬
新レシカルボン坐剤
胃酸抑制薬 胃酸分泌抑制薬
胃酸抑制薬 アトリウム・酸水リン酸二水素アトリウム配合錠

**「効能・効果」、「用法・用量」、
「警告・禁忌を含む使用上の注意」等については、
製品添付文書をご参照ください。**

消化器領域オンライン <http://zeria-online.com/>
消化器領域におけるお役立ちポータルサイト

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-1-1
ゼリア新薬工業株式会社
（興科講堂）お客相談室 ☎03(3661)0277

2016年1月作成

学術的トピックス

食道運動障害の診断と治療

群馬大学医学部附属病院消化器・肝臓内科 栗林志行、草野元康

食道アカラシアをはじめとする食道運動障害の診断には食道内圧検査が必須であるが、本邦では一部の施設が行っているに過ぎなかった。しかし近年、innovationとも言える高解像度食道内圧検査（High resolution manometry: HRM）の登場とともに、新しい食道運動障害のシカゴ分類が提唱され、食道運動障害の診断が大きく進歩した。更に、新しい内視鏡治療として井上らにより開発されたPer-oral endoscopic myotomy (POEM) が食道アカラシアやspastic esophageal disorderに対して導入され、本邦でも食道運動障害への関心が高まっている。シカゴ分類による食道運動障害診断

水や食物を嚥下すると食道上部から食道胃接合部に伝播する収縮（蠕動）が認められる。また、食道胃接合部は胃内圧に比べて高圧帯を形成しており、胃酸や胃内容物の食道への逆流を防いでいる。一方、嚥下時には食道内を運ばれた内容物が胃内に流入するために、一時的に食道胃接合部の弛緩が生じる。こうした一連の食道運動に異常が認められるものが食道運動障害であり、嚥下障害や非心臓性胸痛の原因となる。

従来の食道内圧検査では数cm間隔で数カ所の圧が測定され、センサー間に局限した運動異常は捉えられていない可能性もあった。一方、HRMでは1cm間隔で圧センサーが配置され死角がなくなり、さらに、食道全体の圧測定が可能となったことにより、蠕動の各成分（蠕動波高や伝達速度、食道胃接合部の弛緩圧）などが解析ソフトにより自動計算できるようになった。Pandolfinoらは自動計算されたパラメータを用いてシカゴ分類を提唱し、診断フローチャートにより食道運動障害がより簡便に診断できるようになった。詳細については、本学会から『食道運動障害診療指針』が南江堂より発刊されており、参照されたい。

食道運動障害診断に関するトピック

シカゴ分類では5mlの水嚥下を30秒間隔で10回行って診断するが、患者の症状が検査中に出現することは少ない。Foxらは水嚥下では嚥下障害を認めた患者はいなかったのに対して、試験食では66%の患者で嚥下障害が認められ、39%の患者で水嚥下時と異なる臨床診断になり、試験食の有用性を報告した。本邦においても適切な固形食による嚥下指標の統一が必要であろう。また、Gyawaliらは通常の水嚥下ではなく、2mlの水嚥下を4秒以内に4回以上繰り返すmultiple rapid swallowsを提唱し、正常例では蠕動波高の増大が生じると報告した。Omariらは圧とインピーダンスを同時に測定し、等圧性の内腔の拡張性または収縮性変化も検出できるpressure-flow analysisを考案し、Carlsonらはpressure-flow analysisによりHRMで異常を認めない患者でも嚥下障害の診断ができたことを報告している。またPandolfinoらは、食道の伸展性を評価するFunctional lumen imaging probe (FLIP) 法を報告した。本法はカテーテルに風船が取り付けられており、風船を膨らませることにより食道壁の伸展性を評価する。また、風船内のカテーテルには17個のセ

ンサーが1cm間隔で配置されており、各センサーの断面積計算からバルーンの形状、すなわち食道内腔形を表示することができる。また、断面積を圧で割ったdistensibility indexを新しい指標として提唱した。FLIPで食道胃接合部を伸展すると、その口側では肛門側に伝播する収縮が繰り返し認められるが、食道運動障害症例ではその運動がみられないか、逆行性の収縮を認める。最終的にFLIPでは嚥下障害を訴える患者の95%に異常が認められ、シカゴ分類で著変を認めなかった患者の50%で異常所見があり、FLIPがHRMを補完する検査になり得るとした。ただし食道内へのセンサー挿入の負荷が大きい為、彼らは鎮静下でFLIPを行っており、データの解釈や本邦での導入には一考を有する。

食道運動障害に対する治療

POEMは本邦で2016年4月より保険適用となった。治療対象は食道アカラシアのみならず、びまん性食道痙攣や食道に異常強収縮を認める症例にも有用とされている。最近メタアナリシスも行われ、POEMの安全性および有効性が確認された。近年食道運動障害と好酸球との関連が注目され、POEM施行時の生検で粘膜内ではなく筋層への著明な好酸球浸潤が認められる症例が少なくないことが報告された。POEMが更なる食道運動障害の病態解明にも寄与する可能性がある。

欧米では食道アカラシアに対して内視鏡的にボツリヌストキシン (BTX) の筋層内局注療法が行われている。手技は簡便で副作用もなく安全であり、バルーン拡張術の前治療との位置付けもある。Tackらはアカラシア以外のspastic disorderに対する有用性も報告している。ただしBTXの効果は長期間維持されず（自己抗体によるもの）、繰り返しの施行が必要となる。本邦での本法は保険適用外であり、臨床試験で行わなければならない、賠償保険への加入も必要などの制限から、ごく一部の施設（佐賀大など）で行われているに過ぎない。



漢方医学と西洋医学の融合により
世界で類のない最高の医療提供に貢献します

自然と健康を科学する
漢方のツムラ

<http://www.tsumura.co.jp/>
●お問い合わせは、お客様相談窓口まで。
【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970 【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930
(2016年10月制作) OXCAz12K

胃腸科専門医制度と今後のスケジュールについて

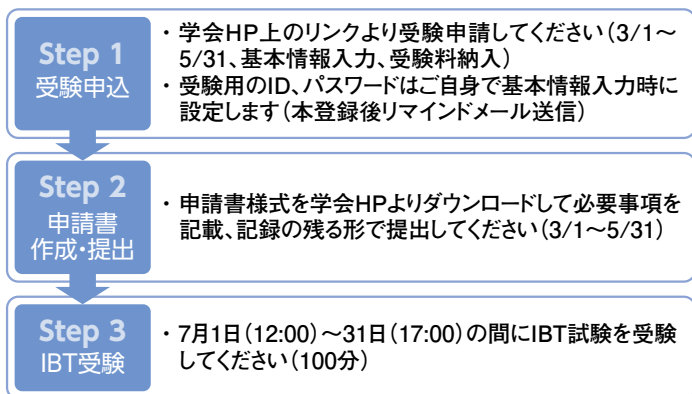
2013年度から暫定処置期間を設けておりましたが、専門医については、すでに暫定での受付は終了しました。今後専門医資格をご希望の方は、2018年から運用される「胃腸科専門医制度規則」に基づきご申請をお願い致します。指導医・指導施設については、2017年9月29日理事会承認分まで申請を受付しますので、ご希望の方は速やかにご申請ください。専門医、指導医のそれぞれのスケジュールは下記をご参考ください。

【暫定専門医から正規専門医への移行について】

2017年に暫定専門医から正規専門医への移行のための書類審査と試験を受けていただき、合格することで正規専門医への移行が完了します。2017年で暫定から正規専門医への移行手続きは終了となりますので、未受験の先生方は必ずお手続きください。書類審査と試験の詳細は下記の通りです。

1. 申請条件：暫定専門医資格を保有していること
2. 申請期間：2017年3月1日～5月末日
3. 申請時提出書類：申請書一式
 - * 移行対象で、2016年度に受験されなかった先生方には、2016年度中に郵送にて通知予定。申請要綱・申請書は2017年2月下旬にホームページにアップロード予定。
4. 書類審査：申請書（履歴、職歴、臨床実績を記載）
5. 試験：IBT（Internet Based Testing）方式*による試験
 - * インターネット上にある試験問題をダウンロードし、回答の上、送信する方式。会場での一斉試験ではなく、一定の期間内にインターネット環境のある場所で問題を解いていただく形式になります。
 - 推奨環境：Windows, Internet Explorer。スマートフォン不可。
6. 受験期間：2017年7月1日（12:00）～7月31日（17:00）
7. 解答時間：100分
8. 設問数：50問
9. 受験料：10,000円

2017年度正規専門医移行スケジュール



【正規専門医の申請について】

2018年3月より正規専門医の申請受付を開始します。

正規専門医申請条件は暫定専門医と異なりますので、申請条件を熟読の上、ご申請をお願いします。

【参考】

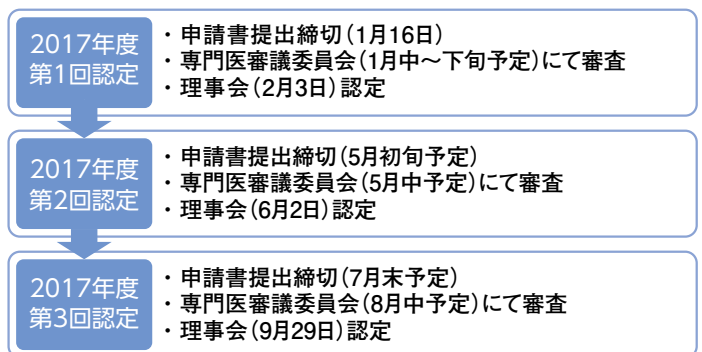
専門医の申請資格：第3章第8条 (<https://jpn-ga.jp/senmoni/>)

【暫定指導医・暫定指導施設】

I. 2017年に新たに暫定指導医・暫定指導施設を申請される場合

1. 申請資格：
 - i 専門医を育成するために胃腸病診療に関する豊富な学識と経験を有すること。
 - ii 申請時において本学会の会員であること。
 - iii 暫定処置による指導医は、本会専門医の資格を有さない場合、日本消化管学会胃腸科専門医制度規則細則で定める基本領域学会の専門医または認定医であること。
2. 申請期間：2017年7月末日まで（予定）
3. 審査書類：申請書一式
 - https://jpn-ga.jp/blog/ct_instructor/2015/（指導医）
 - https://jpn-ga.jp/blog/ct_facility/2016/（指導施設）

2017年度暫定指導医・暫定指導施設申請スケジュール



II. すでに暫定指導医・暫定指導施設を取得されている場合

原則、2018年の正規制度運用開始時に、書類審査に合格することにより正規の指導医・指導施設に移行します。（ただし、従来通り、取得から5年後に更新申請を行い合格することで、移行することも可能です）。2013年～2017年の間に暫定指導医・指導施設を取得された先生、施設については、2018年3月1日～5月31日の申請期間に正規への移行手続きをお願い致します。

1. 申請対象：2013年～2017年9月の理事会までに認定された暫定指導医・指導施設取得の会員および施設
 - * 暫定処置による指導医・指導施設の申請は、2017年9月の理事会承認までの分です。それ以降は2018年からの正規の規則に基づき、申請していただく予定です。
2. 申請期間：2018年3月1日～5月31日
 - * 対象の先生方（施設の場合は、施設代表者）宛に、2017年秋頃に正規への移行手続きのご案内を行う予定です。
3. 申請時提出書類：申請書一式
 - * 2018年2月中にホームページにてご案内予定。

※上記スケジュールは、2016年11月現在のものであり、諸般の事情により変更する場合があります。ご了承ください。

日本消化管学会 暫定処置による胃腸科指導施設 名簿

2013～2016年度（地区別、五十音順、敬称略）

706施設 2016.11.1現在

No.	施設名称	施設都道府県
1	旭川医科大学附属病院	北海道
2	足寄町国民健康保険病院	北海道
3	一般社団法人日本海員救済会 小樽救済会病院	北海道
4	医療法人王子総合病院	北海道
5	医療法人歓生会 豊岡中央病院	北海道
6	医療法人 深仁会 手稲深仁会病院	北海道
7	医療法人啓和会 黒澤病院	北海道
8	医療法人五月会 小笠原クリニック札幌病院	北海道
9	医療法人社団 銀杏会 川西内科胃腸科病院	北海道
10	医療法人社団 太黒胃腸内科病院	北海道
11	医療法人社団はらだ病院	北海道
12	医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院	北海道
13	医療法人中島病院	北海道
14	医療法人 豊和会 新札幌豊和会病院	北海道
15	小樽市立病院	北海道
16	公益財団法人 北海道医療団 帯広第一病院	北海道
17	国立病院機構 北海道がんセンター	北海道
18	小林病院	北海道
19	札幌医科大学附属病院	北海道
20	JR札幌病院	北海道
21	JA北海道厚生連 札幌厚生病院	北海道
22	JA北海道厚生連 旭川厚生病院	北海道
23	社会医療法人 北楡会開成病院	北海道
24	社会医療法人康和会 札幌しらかば台病院	北海道
25	社会医療法人社団カレスサポロ 時計台記念病院	北海道
26	社会医療法人製鉄記念室蘭病院	北海道
27	社会医療法人北斗 北斗病院	北海道
28	社会医療法人北楡会 札幌北楡病院	北海道
29	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院	北海道
30	市立釧路総合病院	北海道
31	市立札幌病院	北海道
32	市立室蘭総合病院	北海道
33	伊達赤十字病院	北海道
34	町立中標津病院	北海道
35	独立行政法人国立病院機構北海道医療センター	北海道
36	独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院	北海道
37	浜頓別町国民健康保険病院	北海道
38	北海道医療団 帯広第一病院	北海道
39	北海道消化器科病院	北海道
40	北海道大学病院	北海道
41	留萌市立病院	北海道
42	青森県立中央病院	青森県
43	青森市民病院	青森県
44	つがる西北五広域連合 つがる総合病院	青森県
45	十和田市立中央病院	青森県
46	八戸赤十字病院	青森県
47	弘前市立病院	青森県
48	弘前大学医学部附属病院	青森県
49	むつ総合病院	青森県
50	秋田県厚生連平鹿総合病院	秋田県
51	秋田赤十字病院	秋田県
52	秋田大学医学部附属病院	秋田県
53	医療法人白雄会 白根病院	秋田県
54	JA秋田厚生連 秋田厚生医療センター	秋田県
55	社会医療法人明和会 中通総合病院	秋田県
56	独立行政法人 地域医療機能推進機構 秋田病院	秋田県
57	医療法人社団 松誠会 滝沢中央病院	岩手県
58	岩手医科大学附属病院	岩手県
59	岩手県立磐井病院	岩手県
60	岩手県立胆沢病院	岩手県
61	奥州市総合水沢病院	岩手県
62	社団医療法人久仁会 内丸病院	岩手県
63	山形大学医学部附属病院	山形県
64	石巻赤十字病院	宮城県
65	医療法人将道会 総合南東北病院	宮城県
66	大崎市民病院	宮城県
67	気仙沼市立病院	宮城県
68	公立黒川病院	宮城県
69	地方独立行政法人 宮城県立病院機構 宮城県立がんセンター	宮城県
70	東北大学病院	宮城県
71	日本赤十字社仙台赤十字病院	宮城県

No.	施設名称	施設都道府県
72	みやぎ県南中核病院	宮城県
73	一般財団法人 大原総合病院	宮城県
74	いわき市立総合磐城共立病院	福島県
75	福島県立医科大学 会津医療センター	福島県
76	福島県立医科大学附属病院	福島県
77	医療法人慶友会 守谷慶友病院	茨城県
78	株式会社日立製作所 日立総合病院	茨城県
79	北茨城市民病院	茨城県
80	小山記念病院	茨城県
81	社会福祉法人恩賜財団済生会龍ヶ崎済生会病院	茨城県
82	筑波記念病院	茨城県
83	筑波大学附属病院	茨城県
84	筑波メディカルセンター病院	茨城県
85	東京医科大学茨城医療センター	茨城県
86	友愛記念病院	茨城県
87	宇都宮東病院	栃木県
88	学校法人国際医療福祉大学病院	栃木県
89	自治医科大学附属病院	栃木県
90	社会医療法人博愛会菅間記念病院	栃木県
91	社会医療法人中山会 宇都宮記念病院	栃木県
92	独立行政法人国立病院機構宇都宮病院	栃木県
93	独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院	栃木県
94	獨協医科大学病院	栃木県
95	那須赤十字病院	栃木県
96	伊勢崎市民病院	群馬県
97	医療法人社団 日高会 日高病院	群馬県
98	医療法人 樹心会 角田病院	群馬県
99	太田記念病院	群馬県
100	群馬県立がんセンター	群馬県
101	群馬大学医学部附属病院	群馬県
102	国立病院機構 高崎総合医療センター	群馬県
103	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 群馬県済生会前橋病院	群馬県
104	多野藤岡医療事務市町村組合 公立藤岡総合病院	群馬県
105	地域医療支援病院 群馬県立心臓血管センター	群馬県
106	独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院	群馬県
107	利根保健生活協同組合 利根中央病院	群馬県
108	日本赤十字社 原町赤十字病院	群馬県
109	上尾中央総合病院	埼玉県
110	医療法人花仁会 秩父病院	埼玉県
111	医療法人 顕正会 蓮田病院	埼玉県
112	医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター	埼玉県
113	社会医療法人さいたま市民医療センター	埼玉県
114	医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院	埼玉県
115	医療法人秀和会 秀和総合病院	埼玉県
116	医療法人へブロン会 大宮中央総合病院	埼玉県
117	医療法人武蔵野総合病院	埼玉県
118	医療法人社団清心会 至聖病院	埼玉県
119	川口市立医療センター	埼玉県
120	埼玉医科大学国際医療センター	埼玉県
121	埼玉医科大学総合医療センター	埼玉県
122	埼玉医科大学病院	埼玉県
123	埼玉県立がんセンター	埼玉県
124	埼玉成恵会病院	埼玉県
125	さいたま赤十字病院	埼玉県
126	医療法人 熊谷総合病院	埼玉県
127	自治医科大学附属さいたま医療センター	埼玉県
128	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 東埼玉総合病院	埼玉県
129	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 埼玉県済生会川口総合病院	埼玉県
130	特定医療法人 同愛会 熊谷外科病院	埼玉県
131	独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院	埼玉県
132	独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター	埼玉県
133	戸田中央総合病院	埼玉県
134	獨協医科大学越谷病院	埼玉県
135	日本赤十字社 深谷赤十字病院	埼玉県
136	東川口病院	埼玉県
137	防衛医科大学校病院	埼玉県
138	メディカルトピア草加病院	埼玉県
139	IMSグループ 医療法人財団 明理会 新松戸中央総合病院	千葉県
140	医療法人社団 康喜会 辻仲病院 柏の葉	千葉県
141	医療法人社団協友会 柏厚生総合病院	千葉県
142	医療法人社団 圭春会 小張総合病院	千葉県

No.	施設名称	施設都道府県
143	医療法人社団普照会 井上記念病院	千葉県
144	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	千葉県
145	大網白里市立国保大網病院	千葉県
146	キッコーマン総合病院	千葉県
147	国際医療福祉大学臨床医学研究センター 化学療法研究所附属病院	千葉県
148	地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院	千葉県
149	国保直営総合病院 君津中央病院	千葉県
150	国保松戸市立病院	千葉県
151	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国府台病院	千葉県
152	社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター	千葉県
153	千葉県がんセンター	千葉県
154	千葉県済生会習志野病院	千葉県
155	千葉大学医学部附属病院	千葉県
156	東京歯科大学市川総合病院	千葉県
157	東京慈恵会医科大学附属柏病院	千葉県
158	東京ベイ・浦安市川医療センター	千葉県
159	東邦大学医療センター佐倉病院	千葉県
160	地方独立行政法人さんむ医療センター	千葉県
161	独立行政法人地域医療機能推進機構 千葉病院	千葉県
162	日本医科大学千葉北総病院	千葉県
163	IMSグループ 医療法人社団 明芳会 高島平中央総合病院	東京都
164	板橋区医師会病院	東京都
165	医療法人沖縄徳洲会 武蔵野徳洲会病院	東京都
166	医療法人社団悦伝会 目白第二病院	東京都
167	医療法人社団 恵仁会 府中恵仁会病院	東京都
168	医療法人社団創生会 町田病院	東京都
169	医療法人社団松和会 池上総合病院	東京都
170	医療法人社団明芳会 板橋中央総合病院	東京都
171	NTT東日本関東病院	東京都
172	大森赤十字病院	東京都
173	学校法人北里大学 北里研究所病院	東京都
174	亀有病院	東京都
175	がん研有明病院	東京都
176	杏精会 岡田病院	東京都
177	杏林大学医学部附属病院	東京都
178	九段坂病院	東京都
179	慶應義塾大学病院	東京都
180	(公財)東京都保健医療公社 東部地域病院	東京都
181	公益財団法人ライフ・エクステンション研究所附属永寿総合病院	東京都
182	公益社団法人地域医療振興協会 東京北医療センター	東京都
183	公立阿伎留医療センター	東京都
184	公立昭和病院	東京都
185	国際医療福祉大学三田病院	東京都
186	国立病院機構 災害医療センター	東京都
187	国立病院機構東京医療センター	東京都
188	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	東京都
189	財団法人日産厚生会玉川病院	東京都
190	社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院	東京都
191	社会医療法人社団 慈生会 等潤病院	東京都
192	社会医療法人社団 正志会 南町田病院	東京都
193	社会医療法人社団 衛生会 立川相互病院	東京都
194	社会福祉法人 あそか会 あそか病院	東京都
195	社会福祉法人浄風園 中野江古田病院	東京都
196	順天堂大学病院	東京都
197	順天堂東京江東高齢者医療センター	東京都
198	昭和大学江東豊洲病院	東京都
199	聖路加国際病院	東京都
200	全国土木建築国民健康保険組合 総合病院 厚生中央病院	東京都
201	帝京大学医学部附属病院	東京都
202	東海大学医学部附属東京病院	東京都
203	東海大学医学部付属八王子病院	東京都
204	東急病院	東京都
205	東京医科歯科大学医学部附属病院	東京都
206	東京医科大学八王子医療センター	東京都
207	東京医科大学病院	東京都
208	東京警察病院	東京都
209	東京厚生年金病院	東京都
210	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	東京都
211	東京慈恵会医科大学附属第三病院	東京都
212	東京慈恵会医科大学付属病院	東京都
213	東京女子医科大学病院	東京都

No.	施設名称	施設都道府県
214	東京大学医学研究所附属病院	東京都
215	東京都がん検診センター	東京都
216	東京都済生会中央病院	東京都
217	東京都同胞援護会 昭島病院	東京都
218	東京都立多摩総合医療センター	東京都
219	東京都立広尾病院	東京都
220	東京都立墨東病院	東京都
221	東芝病院	東京都
222	東邦大学医療センター大森病院	東京都
223	特定医療法人大坪会 東和病院	東京都
224	独立行政法人 労働者健康福祉機構 東京労災病院	東京都
225	独立行政法人 国立成育医療研究センター	東京都
226	独立行政法人国立がん研究センター中央病院	東京都
227	独立行政法人地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター	東京都
228	日本医科大学附属病院	東京都
229	日本医科大学多摩永山病院	東京都
230	日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院	東京都
231	日本大学医学部附属板橋病院	東京都
232	日本大学病院	東京都
233	八王子消化器病院	東京都
234	東大和病院	東京都
235	町田市民病院	東京都
236	三井記念病院	東京都
237	明理会中央総合病院	東京都
238	緑秀会 田無病院	東京都
239	厚木市立病院	神奈川県
240	一般財団法人神奈川県警友会けいけいゆう病院	神奈川県
241	一般社団法人日本厚生団 長津田厚生総合病院	神奈川県
242	医療法人社団こうかん会 日本鋼管病院	神奈川県
243	医療法人 沖縄徳洲会 湘南鎌倉総合病院	神奈川県
244	医療法人社団康心会 湘南東部総合病院	神奈川県
245	医療法人社団聖仁会 横浜甞生病院	神奈川県
246	医療法人社団明芳会 横浜旭中央総合病院	神奈川県
247	医療法人社団緑成会横浜総合病院	神奈川県
248	医療法人 仁愛会 近藤病院	神奈川県
249	医療法人尽誠会 山近記念総合病院	神奈川県
250	医療法人徳洲会 大和徳洲会病院	神奈川県
251	医療法人横浜博明会 西横浜国際総合病院	神奈川県
252	恩賜財団 済生会横浜市東部病院	神奈川県
253	川崎市立川崎病院	神奈川県
254	川崎市立多摩病院	神奈川県
255	関東労災病院	神奈川県
256	北里大学病院	神奈川県
257	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	神奈川県
258	国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	神奈川県
259	国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院	神奈川県
260	JA神奈川県厚生連 伊勢原協同病院	神奈川県
261	JA神奈川県厚生連 相模原協同病院	神奈川県
262	社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院	神奈川県
263	社会医療法人財団 互恵会 大船中央病院	神奈川県
264	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院	神奈川県
265	社会福祉法人 恩賜財団済生会横浜市南部病院	神奈川県
266	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 座間総合病院	神奈川県
267	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院	神奈川県
268	昭和大学藤が丘病院	神奈川県
269	昭和大学横浜市北部病院	神奈川県
270	新百合ヶ丘総合病院	神奈川県
271	聖マリアンナ医科大学 東横病院	神奈川県
272	聖マリアンナ医科大学病院	神奈川県
273	茅ヶ崎市立病院	神奈川県
274	地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター	神奈川県
275	東海大学医学部附属大磯病院	神奈川県
276	東海大学医学部附属病院	神奈川県
277	東芝林間病院 消化器内視鏡センター	神奈川県
278	特定医療法人 沖縄徳洲会 湘南厚木病院	神奈川県
279	独立行政法人国立病院機構 相模原病院	神奈川県
280	独立行政法人地域医療機能推進機構 相模野病院	神奈川県
281	独立行政法人 労働者健康福祉機構 横浜労災病院	神奈川県
282	日本医科大学武蔵小杉病院	神奈川県
283	日本医療伝道会総合病院 衣笠病院	神奈川県
284	平塚市民病院	神奈川県

No.	施設名称	施設都道府県
285	三浦市立病院	神奈川県
286	大和市立病院	神奈川県
287	横浜市立市民病院	神奈川県
288	横浜国立大学附属市民総合医療センター	神奈川県
289	横浜国立大学附属病院	神奈川県
290	横浜国立大学みなと赤十字病院	神奈川県
291	一般財団法人 富士温泉病院	山梨県
292	山梨大学医学部附属病院	山梨県
293	安曇野赤十字病院	長野県
294	医療法人社団 公仁会 前澤病院	長野県
295	健和会病院	長野県
296	J A長野厚生連 篠ノ井総合病院	長野県
297	信州大学医学部附属病院	長野県
298	地方独立行政法人長野県立病院機構長野県立須坂病院	長野県
299	長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院 佐久医療センター	長野県
300	長野市民病院	長野県
301	日本赤十字社 諏訪赤十字病院	長野県
302	医療法人立川メディカルセンター 立川総合病院	新潟県
303	医療法人新潟臨港保健会 新潟臨港病院	新潟県
304	下越病院	新潟県
305	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 新潟県済生会三条病院	新潟県
306	独立行政法人労働者健康福祉機構 新潟労災病院	新潟県
307	新潟県立がんセンター新潟病院	新潟県
308	新潟県立中央病院	新潟県
309	新潟大学医学部総合病院	新潟県
310	医療法人社団 健育会 熱川温泉病院	静岡県
311	医療法人社団康心会 伊豆東部総合病院	静岡県
312	磐田市立総合病院	静岡県
313	共立蒲原総合病院組合 共立蒲原総合病院	静岡県
314	JA静岡厚生連 遠州病院	静岡県
315	静岡県立静岡がんセンター	静岡県
316	静岡市立静岡病院	静岡県
317	順天堂大学医学部附属静岡病院	静岡県
318	市立島田市民病院	静岡県
319	聖隷浜松病院	静岡県
320	聖隷三方原病院	静岡県
321	特定医療法人沖繩徳洲会 静岡徳洲会病院	静岡県
322	独立行政法人国立病院機構静岡医療センター	静岡県
323	日本赤十字社 浜松赤十字病院	静岡県
324	浜松医科大学医学部附属病院	静岡県
325	浜松医療センター	静岡県
326	浜松南病院	静岡県
327	藤枝市立総合病院	静岡県
328	富士市立中央病院	静岡県
329	愛知医科大学病院	愛知県
330	愛知県がんセンター中央病院	愛知県
331	愛知県厚生農業協同組合連合会 知多厚生病院	愛知県
332	一宮市立市民病院	愛知県
333	医療法人 横山胃腸科病院	愛知県
334	医療法人医仁会 さくら総合病院	愛知県
335	医療法人偕行会 名古屋共立病院	愛知県
336	医療法人大医会日進おどり病院	愛知県
337	医療法人徳洲会 名古屋徳洲会総合病院	愛知県
338	医療法人名古屋記念財団 名古屋記念病院	愛知県
339	春日井市民病院	愛知県
340	学校法人藤田学園 藤田保健衛生大学病院	愛知県
341	刈谷豊田総合病院	愛知県
342	公立西知多総合病院	愛知県
343	国家公務員共済組合連合会 名城病院	愛知県
344	社会医療法人 財団新和会 八千代病院	愛知県
345	社会医療法人明陽会 成田記念病院	愛知県
346	独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院	愛知県
347	津島市民病院	愛知県
348	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	愛知県
349	トヨタ記念病院	愛知県
350	名古屋市立西部医療センター	愛知県
351	名古屋市立大学病院	愛知県
352	名古屋市立東部医療センター	愛知県
353	名古屋セントラル病院	愛知県
354	名古屋大学医学部附属病院	愛知県
355	日本赤十字社 名古屋第二赤十字病院	愛知県

No.	施設名称	施設都道府県
356	やまね病院	愛知県
357	医療法人徳洲会大垣徳洲会病院	岐阜県
358	岐阜県総合医療センター	岐阜県
359	岐阜県立多治見病院	岐阜県
360	岐阜市民病院	岐阜県
361	岐阜赤十字病院	岐阜県
362	岐阜大学医学部附属病院	岐阜県
363	公立学校共済組合 東海中央病院	岐阜県
364	富山市立富山市民病院	富山県
365	富山大学附属病院	富山県
366	石川県立中央病院	石川県
367	医療社団法人浅ノ川 浅ノ川総合病院	石川県
368	医療法人社団博友会 金沢西病院	石川県
369	金沢医科大学病院	石川県
370	金沢市立病院	石川県
371	金沢赤十字病院	石川県
372	公立能登総合病院	石川県
373	国立大学法人金沢大学附属病院	石川県
374	国立病院機構 金沢医療センター	石川県
375	市立輪島病院	石川県
376	特定医療法人社団 勝木会 やわたメディカルセンター	石川県
377	医療法人 至捷会 木村病院	福井県
378	公立丹南病院	福井県
379	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 福井県済生会病院	福井県
380	独立行政法人 地域医療機能推進機構 福井勝山総合病院	福井県
381	福井県立病院	福井県
382	福井大学医学部附属病院	福井県
383	近江八幡市立総合医療センター	滋賀県
384	大津市民病院	滋賀県
385	国立大学法人滋賀医科大学医学部附属病院	滋賀県
386	国立病院機構東近江総合医療センター	滋賀県
387	社会福祉法人 恩賜財団 済生会滋賀県病院	滋賀県
388	独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院	滋賀県
389	伊勢赤十字病院	三重県
390	菟野厚生病院	三重県
391	済生会松阪総合病院	三重県
392	市立四日市病院	三重県
393	鈴鹿中央総合病院	三重県
394	地方独立行政法人三重県立総合医療センター	三重県
395	松阪中央総合病院	三重県
396	三重大学病院	三重県
397	四日市市社会保険病院	三重県
398	宇陀市立病院	奈良県
399	近畿大学医学部奈良病院	奈良県
400	医療法人健生会土庫病院 奈良大腸肛門病センター	奈良県
401	市立奈良病院	奈良県
402	独立行政法人 地域医療機能推進機構 大和郡山病院	奈良県
403	奈良県立医科大学附属病院	奈良県
404	社会医療法人博寿会 山本病院	和歌山県
405	和歌山県立医科大学附属病院	和歌山県
406	綾部市立病院	京都府
407	一般社団法人 愛生会 愛生会山科病院	京都府
408	医療法人財団康生会 武田病院	京都府
409	医療法人同仁会 京都九条病院	京都府
410	医療法人医仁会 武田総合病院	京都府
411	京都さつ川病院	京都府
412	京都鞍馬口医療センター	京都府
413	京都警察病院	京都府
414	京都第一赤十字病院	京都府
415	京都大学医学部附属病院	京都府
416	京都通信病院	京都府
417	京都府立医科大附属北部医療センター	京都府
418	京都府立医科大学附属病院	京都府
419	京都山城総合医療センター	京都府
420	公立南丹病院	京都府
421	社会福祉法人 京都社会事業財団 西陣病院	京都府
422	社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	京都府
423	市立福知山市民病院	京都府
424	独立行政法人 国立病院機構 舞鶴医療センター	京都府
425	洛和会ヘルスケアシステム 洛和会音羽病院	京都府
426	浅香山病院	大阪府

No.	施設名称	施設都道府県
427	生駒市立病院	大阪府
428	泉大津市立病院	大阪府
429	今里胃腸病院	大阪府
430	医療法人医誠会城東中央病院	大阪府
431	医療法人医誠会医誠会病院	大阪府
432	医療法人彩樹 守口敬任会病院	大阪府
433	医療法人春秋会 城山病院	大阪府
434	医療法人仙養会 北摂総合病院	大阪府
435	医療法人橘会 東住吉森本病院	大阪府
436	医療法人寺西報恩会長吉総合病院	大阪府
437	医療法人道仁会道仁病院	大阪府
438	医療法人 東和会 第一東和会病院	大阪府
439	医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院	大阪府
440	大阪医科大学附属病院	大阪府
441	大阪掖済会病院	大阪府
442	大阪回生病院	大阪府
443	大阪警察病院	大阪府
444	大阪市立総合医療センター	大阪府
445	大阪市立大学医学部附属病院	大阪府
446	大阪鉄道病院	大阪府
447	大阪府済生会泉尾病院	大阪府
448	大阪府済生会中津病院	大阪府
449	大阪みなと中央病院	大阪府
450	大阪労災病院	大阪府
451	関西医科大学総合医療センター	大阪府
452	関西医科大学附属病院	大阪府
453	岸和田徳洲会病院	大阪府
454	北大阪警察病院	大阪府
455	北野病院	大阪府
456	近畿大学医学部堺病院	大阪府
457	近畿大学医学部附属病院	大阪府
458	公益財団法人 日本生命済生会附属 日生病院	大阪府
459	国立病院機構 大阪南医療センター	大阪府
460	国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院	大阪府
461	国家公務員共済組合連合会 大手前病院	大阪府
462	堺市立総合医療センター	大阪府
463	社会医療法人 医真会八尾総合病院	大阪府
464	社会医療法人ペガサス馬場記念病院	大阪府
465	社会医療法人垣谷 明治橋病院	大阪府
466	社会医療法人きつこう会 多根総合病院	大阪府
467	社会医療法人協和会 加納総合病院	大阪府
468	社会医療法人景岳会 南大阪病院	大阪府
469	社会医療法人 寿栄会 大野記念病院	大阪府
470	大阪医科大学三島南病院	大阪府
471	社会医療法人蒼生会 蒼生病院	大阪府
472	社会医療法人若弘会 若草第一病院	大阪府
473	社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院	大阪府
474	社会福祉法人 大阪暁明館病院	大阪府
475	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会富田林病院	大阪府
476	社会福祉法人 四天王寺福祉事業団 四天王寺病院	大阪府
477	宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション 淀川キリスト教病院	大阪府
478	市立池田病院	大阪府
479	市立貝塚病院	大阪府
480	市立柏原病院	大阪府
481	市立岸和田市民病院	大阪府
482	市立豊中病院	大阪府
483	市立藤井寺市民病院	大阪府
484	正幸会病院	大阪府
485	嚙生会脳神経外科病院	大阪府
486	特定医療法人三和会永山病院	大阪府
487	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院	大阪府
488	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター	大阪府
489	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター	大阪府
490	独立行政法人 市立吹田市民病院	大阪府
491	なにわ生野病院	大阪府
492	日本赤十字社 大阪赤十字病院	大阪府
493	パナソニック健康保険組合 松下記念病院	大阪府
494	東大阪市立総合病院	大阪府
495	府中病院	大阪府
496	宝生会PL病院	大阪府
497	星ヶ丘厚生年金病院	大阪府

No.	施設名称	施設都道府県
498	赤穂市民病院	兵庫県
499	一般財団法人 甲南会 甲南病院	兵庫県
500	医療法人美翔会 姫路愛和病院	兵庫県
501	医療法人 川崎病院	兵庫県
502	医療法人薫風会 佐野病院	兵庫県
503	医療法人社団 仁恵会 石井病院	兵庫県
504	医療法人社団 つかさ会 尾原病院	兵庫県
505	社会医療法人 明石医療センター	兵庫県
506	医療法人社団 順心会 順心病院	兵庫県
507	医療法人社団関田会ときわ病院	兵庫県
508	医療法人社団 朋優会 三木山陽病院	兵庫県
509	医療法人社団網島会厚生病院	兵庫県
510	医療法人伯鳳会 赤穂中央病院	兵庫県
511	医療法人 明和病院	兵庫県
512	神戸市立医療センター中央市民病院	兵庫県
513	神戸大学医学部附属病院	兵庫県
514	公立学校共済組合近畿中央病院	兵庫県
515	三田市民病院	兵庫県
516	社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院	兵庫県
517	社会医療法人 製鉄記念広畑病院	兵庫県
518	市立芦屋病院	兵庫県
519	市立伊丹病院	兵庫県
520	市立川西病院	兵庫県
521	宝塚市立病院	兵庫県
522	特定医療法人社団仙齡会 はりま病院	兵庫県
523	特定医療法人 誠仁会 大久保病院	兵庫県
524	特定医療法人三栄会 ツカザキ病院	兵庫県
525	独立行政法人国立病院機構兵庫中央病院	兵庫県
526	独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター	兵庫県
527	独立行政法人労働者健康福祉機構 関西労災病院	兵庫県
528	西宮市立中央病院	兵庫県
529	姫路聖マリア病院	兵庫県
530	兵庫医科大学附属病院	兵庫県
531	兵庫県立淡路医療センター	兵庫県
532	兵庫県立柏原病院	兵庫県
533	兵庫県立古川医療センター	兵庫県
534	兵庫県立がんセンター	兵庫県
535	六甲アイランド甲南病院	兵庫県
536	特定医療法人財団 同愛会 博愛病院	鳥取県
537	独立行政法人労働者健康福祉機構 山陰労災病院	鳥取県
538	鳥取県立中央病院	鳥取県
539	鳥取市立病院	鳥取県
540	鳥取生協病院	鳥取県
541	鳥取大学医学部附属病院	鳥取県
542	日本赤十字社鳥取赤十字病院	鳥取県
543	島根県済生会江津総合病院	島根県
544	島根県立中央病院	島根県
545	島根大学医学部附属病院	島根県
546	松江市立病院	島根県
547	松江赤十字病院	島根県
548	一般財団法人倉敷成人病センター	岡山県
549	岡山赤十字病院	岡山県
550	岡山大学病院	岡山県
551	川崎医科大学病院	岡山県
552	川崎医科大学附属川崎病院	岡山県
553	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	岡山県
554	心臓病センター榑原病院	岡山県
555	地域医療支援病院 社会医療法人鴻仁会岡山中央病院	岡山県
556	地域医療支援病院 赤磐医師会病院	岡山県
557	地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター岡山市立市民病院	岡山県
558	独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター	岡山県
559	独立行政法人労働者健康福祉機構 岡山東ろうさい病院	岡山県
560	医療法人 杏仁会 松尾内科病院	広島県
561	医療法人社団 日本鋼管福山病院	広島県
562	恩賜財団済生会呉病院	広島県
563	木村胃腸科病院	広島県
564	呉市医師会病院	広島県
565	県立安芸津病院	広島県
566	公立学校共済組合中国中央病院	広島県
567	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院	広島県
568	国家公務員共済組合連合会 広島記念病院	広島県

No.	施設名称	施設都道府県
569	広島鉄道病院	広島県
570	庄原赤十字病院	広島県
571	市立三次中央病院	広島県
572	地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院	広島県
573	地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立広島市民病院	広島県
574	独立行政法人 国立病院機構 福山医療センター	広島県
575	独立行政法人国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター	広島県
576	独立行政法人 労働者健康福祉機構 中国労災病院	広島県
577	東広島医療センター	広島県
578	広島医療生活協同組合 広島共立病院	広島県
579	広島県厚生農業協同組合連合会尾道総合病院	広島県
580	広島赤十字・原爆病院	広島県
581	広島大学病院	広島県
582	広島通信病院	広島県
583	下関市立豊浦病院	山口県
584	独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院	山口県
585	山口大学医学部附属病院	山口県
586	香川県厚生農業協同組合連合会 屋島総合病院	香川県
587	香川県済生会病院	香川県
588	香川県立中央病院	香川県
589	香川大学医学部附属病院	香川県
590	国家公務員共済組合連合会 KKR高松病院	香川県
591	さぬき市民病院	香川県
592	社会医療法人財団大樹会 総合病院回生病院	香川県
593	聖マルチン病院	香川県
594	高松市民病院	香川県
595	三豊総合病院	香川県
596	地方独立行政法人 徳島県鳴門病院	徳島県
597	徳島市民病院	徳島県
598	徳島赤十字病院	徳島県
599	徳島大学病院	徳島県
600	独立行政法人国立病院機構東徳島医療センター	徳島県
601	高知大学医学部附属病院	高知県
602	社会医療法人近森会近森病院	高知県
603	独立行政法人国立病院機構高知病院	高知県
604	医療福祉法人恩賜財団 済生会松山病院	愛媛県
605	愛媛県立中央病院	愛媛県
606	愛媛大学医学部附属病院	愛媛県
607	社会医療法人生きる会 瀬戸内海病院	愛媛県
608	社会福祉法人 恩賜財団 済生会今治病院	愛媛県
609	市立宇和島病院	愛媛県
610	松山赤十字病院	愛媛県
611	一般財団法人 医療・介護・教育研究財団 柳川病院	福岡県
612	一般財団法人 福岡県社会保険医療協会 社会保険 大牟田天領病院	福岡県
613	医療法人愛風会 さく病院	福岡県
614	医療法人 医和基会 戸畑総合病院	福岡県
615	医療法人永真会 青葉台病院	福岡県
616	医療法人 小西第一病院	福岡県
617	医療法人社団廣徳会岡部病院	福岡県
618	地域医療支援病院 医療法人聖峰会 田主丸中央病院	福岡県
619	医療法人 博仁会 福岡リハビリテーション病院	福岡県
620	医療法人 友愛会 友田病院	福岡県
621	医療法人社団 高邦会 福岡山王病院	福岡県
622	遠賀中間医師会おんが病院	福岡県
623	(株) 麻生飯塚病院	福岡県
624	北九州市立医療センター	福岡県
625	九州大学病院	福岡県
626	久留米大学医学部附属医療センター	福岡県
627	久留米大学病院	福岡県
628	高邦会 高木病院	福岡県
629	国立病院機構 九州医療センター	福岡県
630	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院	福岡県
631	社会医療法人製鉄記念八幡病院	福岡県
632	社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院	福岡県
633	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 福岡県済生会福岡総合病院	福岡県
634	社会保険 直方病院	福岡県
635	社会保険福築病院	福岡県
636	田川市立病院	福岡県
637	地域医療機能推進機構 福岡ゆたか中央病院	福岡県
638	独立行政法人 国立病院機構 九州がんセンター	福岡県
639	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター	福岡県

No.	施設名称	施設都道府県
640	独立行政法人労働者健康福祉機構 九州労災病院門司メディカルセンター	福岡県
641	原三信病院	福岡県
642	福岡輝栄会病院	福岡県
643	福岡県済生会 二日市病院	福岡県
644	福岡市医師会成人病センター	福岡県
645	福岡赤十字病院	福岡県
646	福岡大学筑紫病院	福岡県
647	福岡大学病院	福岡県
648	福岡通信病院	福岡県
649	医療法人八宏会 有田胃腸病院	大分県
650	宇佐高田医師会病院	大分県
651	大分県厚生連鶴見病院	大分県
652	大分大学医学部附属病院	大分県
653	九州大学病院別府病院	大分県
654	社会医療法人恵愛会 大分中村病院	大分県
655	社会医療法人 敬和会 大分岡病院	大分県
656	社会医療法人社団 大久保病院	大分県
657	社会医療法人関愛会 佐賀関病院	大分県
658	特定医療法人明徳会 佐藤第一病院	大分県
659	日本赤十字社 大分赤十字病院	大分県
660	一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団 潤和記念病院	宮崎県
661	串間市民病院	宮崎県
662	藤元総合病院	宮崎県
663	都城市郡医師会病院	宮崎県
664	宮崎大学医学部附属病院	宮崎県
665	出水総合医療センター	鹿児島県
666	医療法人 聖心会かごしま高岡病院	鹿児島県
667	医療法人博康会 アクラス中央病院	鹿児島県
668	鹿児島県厚生連病院	鹿児島県
669	鹿児島市医師会病院	鹿児島県
670	鹿児島市立病院	鹿児島県
671	雁の巣病院	鹿児島県
672	公益財団法人昭和会 今給黎総合病院	鹿児島県
673	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	鹿児島県
674	公益社団法人鹿児島県済生会 南風病院	鹿児島県
675	国立大学法人鹿児島大学病院	鹿児島県
676	独立行政法人国立病院機構鹿児島医療センター	鹿児島県
677	荒尾市民病院	熊本県
678	熊本大学医学部附属病院	熊本県
679	国立病院機構熊本医療センター	熊本県
680	済生会熊本病院	熊本県
681	社会医療法人社団高野会 高野病院	熊本県
682	独立行政法人国立病院機構熊本南病院	熊本県
683	独立行政法人 労働者健康福祉機構 熊本労災病院	熊本県
684	伊万里有田共立病院	佐賀県
685	医療法人 ひらまつ病院	佐賀県
686	済生会唐津病院	佐賀県
687	佐賀市立富士大和温泉病院	佐賀県
688	佐賀大学医学部附属病院	佐賀県
689	多久市立病院	佐賀県
690	独立行政法人 地域医療機能推進機構 佐賀中部病院	佐賀県
691	独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター	佐賀県
692	独立行政法人国立病院機構 佐賀病院	佐賀県
693	地方独立行政法人 佐賀県医療センター 好生館	佐賀県
694	日本赤十字社 唐津赤十字病院	佐賀県
695	医療法人緑十字会 高原中央病院	長崎県
696	佐世保市立総合病院	長崎県
697	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 済生会長崎病院	長崎県
698	春回会 井上病院	長崎県
699	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター	長崎県
700	長崎大学病院	長崎県
701	日本赤十字社 長崎原爆病院	長崎県
702	医療法人おもと会 大浜第一病院	沖縄県
703	医療法人真徳会 沖縄メディカル病院	沖縄県
704	社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院	沖縄県
705	友愛会豊見城中央病院	沖縄県
706	琉球大学医学部附属病院	沖縄県

2016年度第4回理事会報告

理事長 藤本 一眞

主な議題：

1. 学会発行文書の年度記載の変更について

西暦と和暦の混在、学会や教育集会の開催年度の数え方に統一性がなく不便であるという意見から、教育集会は和暦ではなく回数と西暦で記載することが承認された。また同時に、学会から発行する各種文書についても、10月1日以降は西暦表記で統一することが承認された（過去の文書や固有名詞は除く）。

2. 第15回総会学術集會会長候補および第13回（2019年度）教育集會当番世話人候補の選出

2019年2月開催の第15回総会学術集會、および同年9月開催の第13回教育集會当番世話人が下記の通り選出され、2017年2月開催の第13回代議員会に推挙することが承認された。（敬称略）

第15回総会学術集會会長：藤本 一眞（佐賀大学医学部 内科学）
第13回教育集會当番世話人：加藤 元嗣（国立病院機構 函館病院）

3. 2016年度代議員補充選挙の結果について

本年が代議員任期1期4年の中間年にあたり補充選挙を行うことが承認されていたため、6月の一か月間立候補を受け付けた。立候補者は選挙管理委員会で書類による資格審査を受け、全員が資格を満たしており、かつ、定数（122名）に満たなかったため、選挙は行わず資格を満たした立候補者を当選とすることが本理事会で承認された。これらの候補者は来年2月の代議員会にて最終承認を得る。

新代議員候補者（23名：内科19名、外科4名）は下記の通り。

（五十音順・敬称略）

入口 陽介	黒木 優一郎	日暮 琢磨
太田 竜	柴田 知行	藤原 靖弘
大宮 直木	滝本 見吾	船水 尚武
岡 志郎	竹内 利寿	北條 麻理子
貝田 将郷	田島 隆行	間部 克裕
片山 裕視	中村 健二	安田 宏
川崎 啓祐	新田 敏勝	山崎 健路
工藤 俊彦	半田 修	

4. 認定医・専門医・指導医・指導施設の承認

本年度申請をした認定医（更新・保留・終身含む）および暫定処置による専門医・指導医・指導施設、正規専門医（暫定専門医からの移行）の審査結果が承認された。有資格者名簿についてはホームページに掲載。2016年～2017年度の暫定指導施設名簿については、本ニュースレター p.9～13にも掲載。

5. 委員会編成名簿の掲載

委員会編成については、これまで各委員長名のみをホームページに掲載してきたが、各方面からの要請もあり、本理事会で委員構成名簿もホームページに掲載することが承認された（ただし、試験問題作成部会については非公開とする）。

選挙管理委員会報告

委員長 杉山 敏郎

日本消化管学会は診療領域の枠を越え、領域横断的に消化管研究を促進すべく設立された学会であり、消化器領域では比較的若い学会である。一般社団法人化に伴い、従来の評議員は代議員と名称を変え、代議員が法人社員であり、まさに学会を支える骨格となる。したがって、その選出は従来の学会とは異なった考え方が必要である。理事会ではその選出方法を十分に議論し、2014年以降「学会運営の透明化」を担保する観点から、学会を支える骨格となる代議員は学会員による選挙で選出することとした。選挙に当たって、規約委員会とともに代議員選出細則を作り、それに沿って、2014年、初めての代議員選挙が実施された。代議員数は学会員の約10%と定められているので、第1回選出に当たって、基本的には診療領域ごとの会員数に応じて、また学会設立の趣旨が生かされるような配慮（消化器内科、外科以外の領域、病理、放射線科、小児科、基礎研究者の代議員数の相対的增加）を加えて実施された。第1回では予定された定数に達せず、実質的選挙は実施されずに規定を満たした389名の新代議員が選出された。

その後、第2回代議員選出までの中間年に、学会の一層の活性化のために、定員不足分とその間に定年による任期終了代議員数に相当する補充の選挙を実施することが理事会決定され中間選挙が実施された。2016年2月社員総会時点での会員数は4,958名であったので、代議員数の上限を496名と設定、この間に定年による15名の任期満了代議員があり、この減員分を含め122名を上限とする新代議員選出選挙が学会ホームページ上に公示、実施された。定数内訳は内科系75名、外科系25名、病理・放射線・小児科・基礎系5名、その他、すべての領域を含む調整枠17名とした。その結果、内科系から19名、外科系から4名の計23名の新代議員が選出され、すでに理事会承認されている。在任期間は2年間であり、2018年には全代議員が同時改選となる。本学会の専門医制度も開始されたが、他方、来年度から専門医制度の大改革がスタートすることが専門医機構、関連学会で決定しており、その中で本学会の位置付けが不透明な部分もあって、学会員数が頭打ち状態にあるものの、いまだ代議員定数上限まで約100名の欠員があり、消化管学会の一層の活性化のために、「透明性」「公平性」を確保して何らかの形で代議員を増加させる手段を検討中である。忌憚のないご意見をいただきたい。

国際交流委員会報告

委員長 城 卓志

1. 10月14日～10月19日にLas Vegasで開催されたACG2016 (Hands-on workshop center) への講師派遣（2名）は、本年度も好評のうちに終了した。

派遣者は下記の通り。（五十音順、敬称略）

藤城 光弘（東京大学医学部附属病院 光学医療診療部）

道田 知樹（帝京大学ちば総合医療センター 第3内科）

2. 昨年度予算化が見送られたACGへの参加渡航費補助（若手会員に限る）は、本年度も予算申請をすることとされた。

3. 第14回（2018）総会学術集会時から、IGICSは単独開催ではなく学術集会の国際セッションとなるため、会長がIGICS当番世話人を兼ねることとなったが、テーマについてはこれまで通り、国際交流委員会にて検討、提案することとされた。

国際交流委員会での検討結果をよりスムーズに14回学会事務局に伝える必要から、毎年、当該年の学会事務局から、国際交流委員を推挙することが検討されている。

和文誌編集部会報告

委員長 三輪 洋人

昨年12月のニュースレター vol.16でもお知らせしたとおり、和文誌（冊子体）の発行が承認されたため、8月4日開催の第1回学会誌編集委員会（英文誌編集部会・和文誌編集部会合同）においてその具体的な内容について検討を行い、下記3点について9月30日の理事会に諮り、承認されました。

1. 和文誌のタイトルは『日本消化管学会雑誌』とする。年間2号発行、1号は投稿論文を中心にしたもの、残りの1号は学術集会抄録号とする。英文タイトルについては今後の検討課題とする。

2. 創刊号は2017年9月発行予定とし、下記の内容にて発刊する（創刊号には投稿論文は掲載しない）。

- ・理事長挨拶
- ・座談会－日本消化管学会のこれまでとこれから－
- ・総説（1編）
- ・学会からのお知らせ（これまでニュースレターに掲載されていた内容から抜粋）

3. 投稿規定（案）は概ね委員会からの提案通り承認されたので、最終版になり次第会員に公示し、論文投稿の受付を開始する予定（現時点では時期未定）。

なお、これまで、学会誌編集委員会下部組織として、和文誌編集部会が存在しておりましたが、和文誌の枠組みの検討が終わったこと、今後の業務内容はかなり異なってくることから、2017年度より和文誌編集部会は和文誌編集委員会として独立することとなりました。委員長以下、構成メンバーは和文誌編集部会の時と同じです。今後ともよろしくお願い致します。

日本消化管学会 プライバシーポリシー

1. [目的]

日本消化管学会プライバシーポリシー（以下プライバシーポリシーと略す）は、会員および本学会の活動に参加する非会員の個人情報の保護およびその有効利用を目的とする。

2. [個人情報の定義]

「個人情報」とは、日本消化管学会が電子メール、郵送、FAX等で会員および本学会の活動に参加する非会員から提供を受けた住所、氏名、電話番号、電子メールアドレス等、特定の個人を識別できる情報をいう。

3. [個人情報の収集]

日本消化管学会が会員あるいは本学会の活動に参加する非会員の個人情報を収集するのは、本学会の事業目的に沿って行う、サービスの提供、会員名簿の作成、調査研究、および過去に集められた個人情報を更新する場合に限るものとする。

4. [学会による個人情報の管理]

日本消化管学会は、収集した個人情報が外部へ漏洩したり、破壊や改ざんを受けたり、紛失することの無いよう厳重に管理することとする。保存された登録情報の管理については、漏洩の防止措置を講ずるものとする。ただし、技術上予期し得ない方法による不正アクセス等により改ざん・漏洩等の被害を受けた場合には、本学会はその責を負わないものとする。

5. [個人情報の開示]

ア) 日本消化管学会が収集した個人情報は、業務に必要な場合、

必要最小限の範囲で守秘義務契約を結んだ上で外部委託業者に提供することがある。また、情報の統計を、個人を特定する情報を含まない形で第三者に提供する場合がある。これらの情報提供は、提供者に対して同意を得ることなく行われることがある。

イ) 個人情報については、次のいずれかの場合には収集目的以外の目的に開示または提供することがある。

1. 法的な手続きに基づき、開示または提供を求められた場合。
2. 個人情報提供者が情報の開示または提供に同意・承諾した場合。
3. 本学会の事業目的に沿って行う情報配信サービスや、本学会運営上必要な事務連絡等の目的で電子メール等を送付するため、個人情報を利用する場合。
4. その他、総会または理事会で承認された事業計画を達成するために正当な理由がある場合。

6. [改定および適用について]

本プライバシーポリシーの改定は、理事会において議決する。すべての改定は本学会より会員に速やかに通知するものとする。日本消化管学会が個別に定める規則により個人情報に関わる規則が定められた場合は、定められた個別規則を優先し適用するものとする。

以上

※このプライバシーポリシーは、日本消化管学会のホームページでご覧になれます。

<http://www.jpn-ga.jp/privacy.html>

Digestion 誌査読者リスト

2015年9月～2016年8月末までに本学会オフィシャルジャーナルDigestion誌の査読を下記の先生方をお願い致しました。お忙しい中、ご協力をいただきました先生方に御礼申し上げます。

(名簿掲載の可否は2016年10月17日会員データに基づく)(地域別、五十音順、敬称略)

北海道	関東	関東	関東	東海	近畿	近畿	近畿	四国
浅香 正博	稲森 正彦	後藤 修	八尾 隆史	永原 章仁	上堂 文也	辻川 知之	三輪 洋人	鎌田 智有
桂田 武彦	岩切 勝彦	後藤田 卓志	矢野 智則	中村 正直	江戸川 祥子	富田 寿彦	村山 洋子	楠 裕明
加藤 元嗣	梅沢 翔太郎	小林 拓	山田 英司	丹羽 康正	大島 忠之	富永 和作	森田 圭紀	塩谷 昭子
小松 嘉人	浦岡 俊夫	酒井 英嗣	渡邊 雅之	古田 隆久	大辻 英吾	内藤 裕二	八木 信明	眞部 紀明
斉藤 裕輔	遠藤 宏樹	鈴木 秀和	甲信越	堀田 欣一	岡崎 和一	中島 滋美	吉治 仁志	中国
間部 克裕	緒方 晴彦	多賀谷 信美	小林 正明	米田 政志	小倉 健	中村 志郎	吉田 直久	森 宏仁
東北	貝瀬 満	長堀 正和	竹内 学	北陸	櫻田 博史	中森 正二	渡辺 憲治	九州
竹之下 誠一	加藤 公敏	中村 真一	東海	藤村 隆	小西 英幸	西田 淳史	渡辺 俊雄	佐伯 浩司
富樫 一智	河原 秀次郎	藤森 俊二	大宮 直木	近畿	新崎 信一郎	能田 貞治	石原 俊治	下田 良
引地 拓人	菊池 大輔	穂苅 量太	春日井 邦夫	荒木 俊光	杉本 光繁	半田 修	石村 典久	竹島 史直
三上 達也	草野 元康	松田 尚久	金子 宏	飯島 英樹	高木 智久	馬場 重樹	磯本 一	村上 和成
関東	桑野 博行	松橋 信行	神谷 武	井上 拓也	竹内 利寿	藤原 靖弘	岡 志郎	
荒木 昭博	郷田 憲一	溝上 裕士	柴田 知行	今枝 広丞	竹内 洋司	水島 恒和		

会員の皆様へー事務局からのお知らせー

学会の研究活動について

日本消化管学会では以下の表彰、研究助成を行っています。

【日本消化管学会賞について】

日本消化管学会では優れた臨牀的、基礎的な研究を発表した会員に年度ごとに学会賞を授与し、学会員の学術活動の活性化と若手研究者の育成をはかります。

学会賞は以下の4種があります。

1. 日本消化管学会最優秀賞
2. 日本消化管学会優秀症例報告賞
3. 日本消化管学会奨励賞
4. 日本消化管学会最優秀サイテーション賞

応募条件、推薦書は学会ホームページにてご確認ください。

現在2017年度の推薦を受け付けております(2017年8月31日必着)。4については学会賞選考委員会で調査を行うため、応募不要です。多くのご応募をお待ちしております。

なお、2016年度の審議は終了し、2017年2月17日～18日の第13回総会学術集会の懇親会にて受賞者の表彰を行います。

【日本消化管学会多施設共同研究助成について】

日本消化管学会は、優れた多施設臨床研究計画に対して研究助成を行い、日本における消化管領域の臨床研究のレベル向上を目指しています。

2017年度の募集期間は2017年3月1日～3月31日です。申請に関する情報は2017年1月中旬にホームページに掲載致します。

なお、助成が終了した研究については、総会学術集会にて成果発表を行っています。

昨年、2013年度に助成を受け、2016年5月末に研究が終了した下記課題が第12回総会学術集会にて発表されました。

「潰瘍性大腸炎サーベイランス内視鏡における全大腸NBI観察と全大腸色素内視鏡観察の国内多施設共同前向きランダム化比較試験：Navigator Study」

研究代表者・発表者：渡辺 憲治

(大阪市立総合医療センター消化器内科)

2017年2月開催の第13回総会学術集会でも2014年度に助成を受けた下記課題の成果発表を行う予定です。ご期待ください。

「NBI (narrow band imaging) 併用拡大内視鏡観察とインジゴカルミンChromendoscopy (CE) の早期胃癌の境界診断に対する多施設前向き臨床試験」

研究代表者：八尾建史 (福岡大学筑紫病院内視鏡部)

発表者：長浜 孝 (福岡大学筑紫病院消化器科)

マイページパスワードについて

2016年2月末にマイページをリニューアルした際に一斉にパスワードを変更しております(郵送にて通知済)。マイページログイン時にパスワードがご不明の場合は事務局までお問い合わせください。

会費について

会費滞納が5年以上となりますと、定款(施行細則)の定めにより退会となります。年度末(12月末)に5年以上滞納の方は翌年1月末付で退会手続きをさせていただきますので、学会活動の継続をご希望の場合は、会費の未納がないようお気をつけください。

ニュースレターについて

本学会の広報を目的として発行されてきた本ニュースレターも、学会創立12年をもって一定の役割を果たしたと判断されました。そのため、本号をもちましてニュースレターの発行は終了致します。これまでニュースレターでお知らせしてきたような内容については、今後は和文誌(2017年9月創刊予定)に掲載されることとなります(詳細につきましては、和文誌編集部会報告にてご確認ください)。

今後とも会員の皆様のお役にたつような情報を提供できるよう努力致しますので、引き続き和文誌もご愛読くださいますようお願い申し上げます。

またこの場をお借りして、12年間にわたりお忙しいなか無償で原稿をご執筆いただきました多くの先生方に厚く御礼申し上げます。有難うございました。

JGA NEWSLETTER 編集組織

広報委員会

委員長 三輪 洋人

委員 岩切 勝彦、岩本 淳一、徳永 健吾、古田 隆久、堀木 紀行

お問合わせ：一般社団法人日本消化管学会事務局 (JGA事務局)

〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1

株式会社 勁草書房 コミュニケーション事業部内

樋口/佐々木/長谷

TEL: 03-5840-6338 FAX: 03-3814-6904

E-mail: jga-secretariat@keiso-comm.com

※学会、研究会、講演会等でニュースレターの配布をご希望の方は、お送り致しますので、事務局までご一報ください。